31 de Outubro de 1920 No. 160

Noticias do Brazil

大正九年十月廿一日　日曜日　第百六十號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 15$000
,, Semestre ..... 8$000
,, Mez ..... 1$500
,, Semana $500

天長節を記念し奉る

天長節と申せば、四方拜、紀元節と相並んで、我が國三大節の一つで國民に取つて最も記念すべき大祭日であることは、日本人である限り三歳の兒童も能く之を知る處でありますが、本日は此の意味深き大切なる今上陛下第九次の天長節祝日に相當しまする爲め、國内の民衆は申すに及ばず、我が民族の發展する處、如何なる世界の端に於ても、皆な齊しく萬歳を唱へて、芽出たい此の日を記念し奉るのであります。

凡そ一國の元首は、如何なる御方でも尊敬せねばならぬものでありますが、其中でも吾々の戴いて居る皇室は、我が日本民族の中心で、神代このかた文明の泉源を成せるのみならず、億兆の宗家であり、又歴代の天子は公民の父母にましまします上にも今上陛下は特に仁愛厚く、平和を好ませられ、其の宏業、其の盛德は明治大帝に繼ぎて、誠に古今珍らしき御方で在らせられます。

吾々は幸ひにして此の時勢に生れ此の如き仁政の下に海外發展を企圖せるは、甚だ仕合せなことであります、故に吾々は陛下の御仁德に對しましては、夢寐だも之を忘れてはならぬと共に、毎年一度逢遭する處の天長の佳節を心から祝して、同胞互ひに歡樂の情を盡し合ふべきであります。

前述の如く我が國は、皇室を中心とし、天子を父母とする家族制度の國でありますから、之を護持するの必要上、海外發展は好ましからずとの消極説なきにあらざるも家族制度は必ずしも國内に蟄居し、鄕閭に固着するの謂ひでなく、内に在つても外に在つても、但だ皇室中心の家門家系の觀念を基礎とし、其の上に民族的觀念を措けば可いので、吾々日本人は此の根本觀念を忘れさへしなければ、世界何れの端に飛び出すも、必ず其處に有意義な生活を營み得るのであります。

世界大戰の結果帝國は段々倒れて今日名實相伴ふ處の帝國としては、唯だ我が日本ありと云ふの有樣でありますから、惡口好な外國人は『嘸ぞ日本の皇室も心配ならむ』と云ふも、日本帝國は、支那や、墺太利や獨逸等の國柄とは全然其の性質を異にして、帝國は即ち帝國なるも、日本は天子を主長として、日本と云ふ一大家族を組織し、上下心を一にして居るから、其の間外國で見る樣な革命の起ることは、萬々ないと云ふて可いのである。

其の證據には、君主の權力を制限し、人民の權利を伸さんとする憲法の制定には、殆ど各國申し合せた樣に、血を以て爭つたものであるが、獨り我が日本に於ては、誠に平和に天子の惠み深き御言葉に依つて書かれて居るのでありますから、之を見ても、如何に我が天子の德の偉大なるかが、明瞭に意識さるゝと共に、國體の麗はしきを知ることが出來るのであります。

故に吾々は、今日此の記念深き陛下の御誕辰を迎ふるに當り、我が皇室無限の尊しさと、國體の彌々麗はしさを理解し、以て、聖壽の無彊を祈り奉らねばならぬのであります。

●伯國に歸化せよ

伯國在留の我が同胞にして、伯國に永住すると否とに拘はらず、伯國に於て何か事業を企て又は仕事を爲さうとする者には、伯國に歸化するの一大利益たるを、本紙が是まで屢々述べた甲斐あつて、近頃大分歸化の申請を望む者が出て來たやうである茲に於て本社は更に一歩を進めて是等實行方法を講究し近く本紙上に發表することにする、何と云つても必要なるは歸化である。

●世界大勢上より見たる 製糖業及び相場（三）

北島湖西子談

今や生産者は其の高値に伴れ、吾も彼も砂糖〳〵と云ひ、世間の消費者も亦其の高値なるに伴れ需要を充すに困難なるが爲め砂糖〳〵と云ひ、即ち生産者は喜び消費者は憂ひ、前者は益々其の値の高騰を希望し、後者は成るべく其の値の低落を祈れり、茲に於て消費者側より砂糖問題なるも地小賣店の相場――消費者は現在の相場――各給の投合より來れる眞の相場なるか或は生産者若しくは商人が暴利を貪るより起れる人爲的相場なるかを疑ふに至れるが、抑も相場なるものは世は擧つて砂糖の名を口にす、前者は生産者は喜び消費者は憂ひ、前者は益々其の値の高騰を希望し、後者は成るべく其の値の低落を祈れり、茲に於て消費者側より砂糖問題なるも地小賣店の相場――消費者は現在の相場――各給の投合より來れる眞の相場なるか或は生産者若しくは商人が暴利を貪るより起れる人爲的相場なるかを疑ふに至れるが、抑も相場なるものは恰も暴風の如く、或る一點に起れる低氣壓は世界の氣流に變動を起すと同樣、或る出來事の爲めに世界の相場に波及するは疑ひなきことにして或る旅行者が波斯國内地を旅行の際土着の人に此の度の世界大戰を知れるやと問はれしに對し、左樣なことは知らず、然れども砂糖一封度の相場が五十仙より一躍二弗に騰貴せるに依り、何れ世界の何所にか大なる出來事ありと察せりと答へしは能く右の事情を云ひ現はせしと云ふべし故に吾々は砂糖の相場に依つて高低する原因を究はめやうとするには、唯だ一地方一植民地を目標として定むるは蓋し間違つた考へにして、眞の相場を究むるには何うしても世界の市場に眼を放つの必要あり、即ち目下の砂糖相場の暴騰は世界の生産額減少と反比例して消費額の增加にあるは疑ふべからざる事實なれば、之を根本的に知るには先づ生産國の事情及び需要の增加し來れる所以を知ること肝要なり。

然れども物の相場は必ずしも需要供給の原則のみに支配せらるゝものに非ずして時に壟斷同盟の人爲的手段に依りて法外に値段の引き上げらるゝことも珍らしからざることなり、現に砂糖生産に豐富と呼ばるゝ北米合衆國昨今の市場も、其の價格非常に高く、一般消費者は其の罪を生産者及び商人に歸し、取引人等は其の生産物を故意に蓄藏し巨利を圖るにありと絶叫するを見ても知るべし、併し是等も事實を探究すれば世人の想像するが如く左まで大なるものに非ずして其の多くは誤解なり、例へば千九百十九年八月十三日五百萬封度（六十キロ入四萬二千袋）の砂糖をボストン倉庫に入れたるものありしが、世人は之を蓄藏として痛く攻擊せるも、事實此の砂糖は北米以上に必要なる某國に輸出すべき法定品なりき、而して此の砂糖は生産者に取つても世人の想像するが如く割の良きものに非ずして、寧ろ道義に對する非常な薄利なりしものなりとの事なれば世人は往々生産物の價格暴騰を不正の意味に解し、生産者及び取引者を憎むこと甚だ過大に失するの誤りあるは深く注意すべきことなり

▲寄書▲

●兒童教育に就て（四）

山根寛一

最後に私は今一つ諸氏の疑塊を解かなければならぬ、伯國は日本兒童に伯國教育を施して、其の精神、宗教風俗、文化悉く同化せしめて以つて吾人の掌中にある玉を窃取せんとするのではなからうかとの僻見である然し此れは佛國が嘗つて、其の東洋の植民地に極端なる同化主義政策を施して失敗し、又英國が印度に同主義を採つて却つて其の統治困難となり、終ひに北米が比律賓の兒童教育に土語を使用せしめ、和蘭が爪哇に北米と同樣の主義を採るに至りし般鑑となりしに過ぎなかつたと同樣に在伯邦人も之れを伯國より見れば、財政不如意の中から費用を絞つて、殊更ら日本人に教育を施し、將來伯國の政事に容喙したり、産業の中心に割り入つて、壟斷を私する樣な人物を出すよりは、寧ろ此の儘に放任して、子々孫々に至るに從つて漸次其の智力を遞下せしめ、何時までも現在の下級勞働者の位置に甘んぜしめカブクロの如く働かしむる方が利益かも知れぬ、然し此れに反し當局者が教師、什器、生徒の用品に至るまで支給し、多額の費用を投じて教育して呉れるのは、全く當國民の一視同仁の美德が啻澤として吾人に降つたものであつて、大いに感謝すべきである。

物は進歩しなければ必らず退歩する邦人も永久移住當時の狀態に止る事が出來ぬと同時に、現在我等が母國に見る一員として存する事も出來ぬ之れを背つてルーズ、ベルト氏が同化せざる亞米利加移民に對して痛論せし言をかりて言へば『其の舊來の言語を保つに力むるとするも二三時代を經過する間に、必らず化して一種奇怪なる蠻語となるべく、其の舊來の風俗及び衣食住の狀態を保つに力むるとするも、又二三時代を經過せざる間に化して一種異樣の野人となるを免れぬであらう』と、不幸にしてル氏の言は適中して未だ初期時代にある當國の在留同胞間に之れを目擊しつゝある。

誠に在伯同胞の將來は懸つて兒童教育の如何にある、私は切に諸士の熟考を促し度いのである。（終）

▲▲東西南北▼▼

◆希臘王アレキサンドル陛下二十五日遂に崩御せられた御年僅廿七歳而も風説に依れば伯國産の猿に嚙み付かれたのが因だとか御悼しき事也

◆陛下には皇子がないので弟パウロ親王を擁立して帝位に即かしめ海軍大將コンドリオチスをして攝政たらしむと首相ヴェニゼーロス公表す

◆然るに一方にはチョーチ親王擁立黨あり又バルカン問題に利害關係を有する列强にも二派あれば妥協成立甚だ困難結局は共和國とならむ乎

◆前伯國王子ペードロ駐佛伯國大使から旅券の下附を受け父王ペードロ二世の遺骨を持つて渡伯に決す前王族で伯國旅券を得たのは彼一人だ

◆ペードロ二世は三十二年前王位を逐はれ伯國退去を迫られて葡國へ逃げた伯國最後の帝王である其遺骸を乞ふて伯國へ移すとは可笑な物だ

◆佛國前首相クレマンソウ氏東洋漫遊の途にあり去る二十六日の倫敦電報は彼が蘭領バタヴィヤで歡迎されたと云つて居る老て益旺なる可羨

◆英國は其の石炭坑夫總同盟罷業の場合獨逸より石炭を輸入せんとする意あるを以て獨逸炭坑夫は同業の誼で其場合亦同盟罷業する事に決定

◆佛國飛行家サーチ、ラコイン氏自製の飛行機を以て一時間三〇二五二九メートル即ち一八七、八七哩を飛び從來の世界のレコードを破つた

◆北米禁酒令施行以來酒類の密輸人を防ぐため稅關の荷物檢査は中々嚴重今迄素通りの特別扱ひを受けた各國大公使外交官の荷物迄開させる

◆流石御上品振る外交官連中も之れには顏を眞赤にして怒り出し國務卿コルビー氏を包圍攻擊の結果元通りの無檢査、日米問題も此手で行け

◆タクナ、アリカ問題は國際聯盟にて解決せざれば住民の一般投票に依る外なし其結果は必ず智利領たるべしとタクナ郡長云ふ彼は智利人也

◆亞國在留伊太利人は亞米利加發見者たるコロンブスの紀念碑をブエノス市に寄贈し其除幕式が本月行はれる筈だつたが伊國カラ、の大理石工夫の罷業の爲材料缺乏不得已延期

經濟欄

●白耳義伯國貿易

白耳義王御來伯の結果、同國と伯國との通商を一層密接ならしむる目的を以て、相互に二億六千萬フラン(白耳義貨)迄物資の融通を圖る事に協定成立したるが尙爲替相場の變動を避るため向ふ二ヶ年間は精算を爲さゞる事となれり

●和蘭技師の地質調査

在リオ和蘭公使館の發表する處に依れば、同國の有力なる一會社は伯國鑛山業に投資の計畫あり、地質調査を爲さしむる爲め鑛山技師を派遣し主としてセアラ州方面を踏査せしむる筈にて、既に技師の一行はリオへ到着したりと

●サンパウロ商工銀行頭取更迭

同銀行創立以來の頭取たるアントニオ、プラド氏は老齢の故を以て辭職し、州上院議員バヅア、サレス氏之に代る事に決定したり

●アマゾン流域

▲ゴム暴落は致命傷

洽く北部諸州を視察して歸來せる某外國商人の談として聖市一新聞紙の傳ふる處に依れば、アマゾン流域の不景氣は實に想像以上にして之が恢復には少くも三十年を要すべし、パラー及びマナオスは一にアマゾン流域特產の護謨に依りて今日の繁榮を致したるを以て、安價なる栽培護謨の出現が其致命傷となりしは當然の結果なり、數年前一キロ九ミルレース乃至十ミルレースのパラ護謨は目下二ミルレース內外にして約五分の一に暴落せり、世人の知る如くパラ護謨は南洋の夫れと異り森林中に野生のものを探求して採取するを以て其採取費は現今の價格以上に出で到底引合ふものに非ず從つて護謨商業の中止となり、アマゾンを去る商人及び勞働者の數は日一日と增加するのみなり、僅か十年前費用を顧みず建設せられたるアマゾン州首府マナオスの宏莊なる市街も今は恰も死の町に等しく其商業はパラ州一小市たるオビードスにも劣れり

死に瀕せるアマゾン流域の恢復策として余に纏りたる意見なきも、運送費の高率と同地方特產物即ち護謨に對する定市場を求むるの困難とを除くは最も急務なるべし

パラも亦重傷を負へるもマナオス程に甚しからず、之が救濟策は製材業棉花栽培を奬勵するを以て最も有効ならむと思惟す

●本年の輸出高

……一月より六月迄

本年一月より六月に至る重なる輸出品の數量及び其輸出先左の如し

▲棉花

輸出先	數量噸
英國	八、三一六
佛國	八、〇六〇
葡國	二、四九一
白耳義	九〇二
獨逸	四九九
其他	六九三
合計	二〇、九六一

▲珈琲

輸出先	數量袋
北米	三、〇七八、〇〇〇
伊太利	九三二、〇〇〇
佛國	六三八、〇〇〇
南阿	一三四、〇〇〇
瑞典	一一七、〇〇〇
亞爾然丁	一一一、〇〇〇
白耳義	九五、〇〇〇
其他	五、四三四、〇〇〇
合計	三二九、〇〇〇

▲備考　日本行は三千袋なり

▲白米

輸出先	數量袋
獨逸	三、九八四、〇〇〇
亞爾然丁	一、一四四、〇〇〇
白耳義	一九三、〇〇〇
其他	一一三、〇〇〇
合計	五、四三四、〇〇〇

▲砂糖

輸出先	數量噸
北米	二、四八七
英國	七一、三九八
其他	三、九三七
合計	三、九八六
	一、四三七
輸出港	四六、〇三二
バルナンブコ	三四、一八〇六
リオ	三、八七二
マセイヨ	三、〇六八
バイヤ	一〇六
其他	四六、〇三二
合計	四六、〇三二

▲備考　サントス輸出は十二噸なり

●伊國移民問題

……オ、バイス紙所論

伊國外相スフォルツァ伯の言の如く渡伯を希望せる伊國民は現下十萬を算すと稱せらる、此事實と前首相オルランド氏の來伯及び來年伊國皇帝陛下の伯國御漫遊の風說あるを機として伊國移民に付き一言せんとす

伊國移民の誘入に依る伊伯兩國の利益を云々するは些か跛足の嫌ひなきに非ざるも、伊國外相の伯國移民悲觀論を聞くに及び、吾人は再び玆に之を繰り返さゞる可らず、若し伊國移民にして廣大なる伯國の人口增加及び經濟的膨脹に必要欠く可らざるものならば、これ伊國勢力發展の新要素にして且つ兩國の經濟的關係を密接ならしむる媒介者となり從つて伊國を利する大なるものあるべし

伊國は他の歐洲諸國と異り植民地を有せざるが故に其工業に要する原料及び食糧品を得る事甚だ困難なり、故に伊國が其製品を伯國に販賣し同時に原料及び食糧品を玆に得る事となれば伊國に取りて伯國は其食糧品倉庫たり、又製造品の市場として好適の地たるべし、聰明なる伊國政治家の面前に橫はれる經濟的問題を解決する唯一の方法は伊伯貿易の接近にあるは明白なり

伯國は移民問題に關し伊國以外の他國と協定を爲すに當り先づ其の國が伊國同樣、伯國を利するものなりや否やを考慮す、而して伊國が食糧品及び原料の市場として最有望の地たるは伯國の販賣慾よりも伊國の購買慾大なるを以て知るを得べし

●定期相場表

◆カフエー(チーボ四番十キロに付)(昨日)

十一月十二日	九、五〇〇	レース
十二月	九、三七五	レース
一月	九、三七五	レース
二月	九、四五〇	レース
三月	九、四五〇	レース
四月	九、四五〇	レース

◆アルゴドン(エンラーマ十五キロに付)

	賣	
十一月	三七、五〇〇	ミル レース
十二月	三七、六〇〇	ミル レース
一月	三八、一〇〇	ミル レース
二月	三八、五〇〇	ミル レース
三月	三八、三〇〇	ミル レース
	三八、七〇〇	ミル レース
	三八、八〇〇	ミル レース

◆モミ(六十キロに付)

	賣	
十一月	二三、二〇〇	ミル レース
十二月	二三、二〇〇	ミル レース
一月	二三、二〇〇	ミル レース
二月	二三、二〇〇	ミル レース
三月	二四、五〇〇	ミル レース

△アグリヤ、ボン賣

十一月	二三、二〇〇	ミル レース
十二月	二三、二〇〇	ミル レース
一月	二三、二〇〇	ミル レース
二月	二三、二〇〇	ミル レース

●物價表(昨日)

砂糖(特等)六十基	七八、〇〇〇	レース
同(上)	七六、〇〇〇	レース
白米(特等アグリヤ)	四一、〇〇〇	レース
同(最上アグリヤ)	三八、〇〇〇	レース
モミ(特等アグリヤ)	二二、五〇〇	レース
同(最上アグリヤ)	二一、五〇〇	レース
同(上アグリヤ)		
豆(最上ムラチーニヨ)	一、一	
同(上)	一、一	
ミーリヨ(アマレリニヨ)	一四、〇〇〇	
同(アマレーロ)	一三、八〇〇	
同(アマレロン)	一三、八〇〇	

練習艦隊歡迎費寄附者芳名並金額(三回)

(受付順)

●サンパウロ市	金百圓	鹿兒島縣人會
	金五十圓	野田良國
	金五十圓	關田久治郎
	金五十圓	富彌太郎
	金五十圓	古齋藤武雄
	金五十圓	高岡專太郎
	金五十圓	岸本次男
	金五十圓	濱岡新松
	金貳十圓	田口耕三
	金貳十圓	岡島市郎
	金十五圓	岩本熊吉
	金貳十圓	楠木作右衛門
	金貳十圓	塚本子ト
	金十圓	高木畝子
	金十圓	八木刀一
	金十圓	山下辨治
●コチヤ	金五十圓	
●ビラ、ジユケリー	金十圓	立川嘉一
	金十圓	山本郡作
	金十圓	山本寅一
	金十圓	河野喜代一
●アララクアラ驛ベラビスタ米作地	金十圓	齋藤久治郎
	金十圓	竹田清太郎
	金五圓	大槻榮左衛門
	金五圓	白本乙五郎
●アララクアラ驛サンタフエ米作地	金五圓	高橋運作
	金五圓	傳六
	金五圓	登坂政好
	金五圓	阿久津龍一
	金五圓	小野藤六郎
	金參圓	

小計	金九百六十八圓	
▼合計	十四コントス十三圓也	

練習艦隊歡迎團

▲正誤　前號所載練習艦隊歡迎費寄附者芳名中誤植ありたるに付左の通り正誤す

誤	正
藤原猪之一	藤原猪一
石村房吉	西村房吉
山田勘市	山田勘一
久保庄右衛門	久保庄右衛門
岡島仁郎	岡島次郎

奉祝天長節
藤崎商會
本店　リオデジヤネイロ
支店　サンパウロ
　　ペルナンブーコ

奉祝天長節
日本貿易株式會社
リオデジヤネイロ支店
サンパウロ出張所
アルゼンチン支店

●伯刺西爾曠原の探險

米國　テヲドル、ルーズベルト著
日本　北島湖西子譯

第五章　タピール貘川上り（七）

船中生活は何の爲すこともなく、毎日無爲の中に暮せり、運動するには人多くして狹し、余は主として風光を賞せり、會話は英語、葡萄牙語、拙き佛語、破則の獨語なり、或人は書きものを或人は讀書と各自思ひ思ひに振舞へり、フイアーは追加購入すべき天幕、ハンモック其他の買入品に就き豫算を立て居れり、大佐は清楚端然、然かも油斷なき軍人的態度を以て地理學的天文學を研究し居れり、神父はフオガザロの小說、ケミットはカモエンや伯國小說のグワラニー、インノセンシヤ等を耽讀し余はキボンを讀みミルラー氏は秘藏の愛らしきモーゼスを籠より出し水や餌を與へ居れり。

初日の夜、貧弱なる椰子葺屋根に壁も亦ワウサ椰子なる小農家に泊ることゝなり、或者は川邊に或者は船に夜を送り、余は其の家に宿せり、蚊居らず暑からずして安眠せり、翌朝五時伯國式の珈琲を飲み出發せり。終日除行して二三の農場を通過せり牛乳を求めたる一軒の農場の附近の樹には多數の黃色の花今を盛りと咲き亂れ居たり、夜に入りて沿岸に樹木なくして船着に便なる處に泊れり蚊は非常に少なく此の川邊の樹にはハンモックをかけて眠れり、立ち木は多くはワウサ椰子にして或ものゝ葉に高く頂上に鷄冠の如く廣がり或ものゝ葉は地上より發生し其高さ五十尺以上に達する者あり、次の朝五時に出發せり、一名の水夫方向を誤り歸り來らず、それを知らずして出發せるに心づき則時停船せり、迷へる彼は一心に彼方此方と錯綜せる樹木の内より聞ゆる機關の音と船より吹ける喇叭の音を目的に川邊に歸着せるが實に如此き深林中にて日は曇り、人若し磁石を有せずとせば川より百ヤードの處にて已に絶望と云ふの外なし。

廻行するに從つてワウサ椰子多し、此邊り數哩の沿岸は特種の森林連綿し居れるが、ワウサの其の枝垂れる簇葉は他の者より巍然として頭角を拔き其高き上半身に紫色の蘭の密生せるを見たり、又少しく公開せる所に立てる木々には無慮百以上の椋鳥の懸垂巢ありたり、此日二三の農場を通過せるが、家は皆な川邊の綺麗なる廣場に立てられたる椰子建の家にして皆カノアを繫留し居れり、女小兒は窓より川を眺め、男は其前に立てり、大なる家には椰子の柵を造り牛を追込み居れり、一枚板にて造られし二輪牛車の上には天蓋を張り居れり。

書頃暫く休みたる處に味ふに誠に甘き木の實の密生せる大木ありき、又赤黃の花、愛らしき紫色の花や星形の白き花の地上に滿開し居れり、川面を飛び交ふ燕の黑き翅が太陽の光を浴びて雪の如く白し、川の流れはイヨ〳〵急になり殊に瀨の處に急にして機關は努力し不格好なる兩外車は大なる音を立てゝ働けるも船の進む事遲し、夜に入りて野營するに足る程の森の開けたる所に碇船せり、其夜蟻はミルラー氏の蚊帳に大なる穴を穿ち、靴下全部を食ひ盡せり。

日出の頃出發せるが屢々急流に會し進行遲し網にて曳船し水夫は棹差し上る、沈木には鵜、蛇鳥の類棲り居れり、深林の高き所にトカノの群を認めり、其巨大なる嘴と色彩の見事なる遠くより之れを認める事を得、此の日幾多の農場を通過せり。

一月十六日正午電信隊本部のあるタピアポアンに到着せり、川に面せる風景よき所にして伯國と北米其他各國の旗を以て飾られ廣き芝生の中央に大木あり、其一方は電信隊の建物又其他の一方は本部にして其他廐、倉庫、納屋、家畜の圍ひ等の設けあり、近かく畑あり、乳牛、肉牛、牝牛、ブール等放牧せられ車輛二三及電信布設の際必要なる索引自動車もあり然し此頃の雨期には全く用をなさずと、玆處より愈々吾人の陸上遠征となるを以てブールや牛を召集せるが前途人跡未踏の曠野を進むに際し人畜の生活を持續せん爲め多數の荷物の分配や種々準備のために玆處に數日滯在することゝなり、フイアラーは有力なる助手シッグと共に熱心に其衝に當れり、ハーバー氏も博物學者の方に用なき限りは熱心に心地よくフイアラーを扶け居たり。

謹告

拜啓　益々御清穆奉慶賀候
偖而練習艦隊歡迎に關し本月一日以來兩邦字新聞每號紙上を以て廣く在留民諸賢の御後援を願出候處續々熱誠を籠めたる御寄附金の御送附を辱ふし發起人一同深く感謝罷在候然るに艦隊來航豫定は約十日間を繰上げられ十一月二十七日頃には「サントス」港に入港の報を入手致候從つて歡迎計畫は一日も早く確定するの必要に迫られ居候に付此際奮つて御寄附金の御送附を願上度奉懇願候艦隊來着豫定變更御通知を兼ね御願迄如此御座候

追て　寄附金額御隨意　一ミル以下取扱困難に付申受けざる事

寄附金收納締切期日
大正九年十一月十日限り

御送金は左記宛に願上候
練習艦隊歡迎團會計主任　熊坂清四郎
Caixa Postal, 344, S. PAULO

寄附金の受領に對しては特に受領證を發せずして御芳名及金額を兩邦字新聞に掲載し受領證に代ふる事と致候

大正九年十月二十二日

練習艦隊歡迎團發企人一同

在留民諸賢

●新しき世界の大勢に

眼覺めよ（下）

露國と通商するとの意味は、戰後米國の歐洲に對する態度が、あまりに利己的にして、歐洲人はいづれの國民たるとを問はず悉く皆米國人の不親切を怒り、甚しき國に於ては『今後米國より物品を購ふべからず』と大書して主張する新聞等さへもあつて、今日の歐洲人は『歐洲人の歐洲』といふことを唱へ、米國の供給を仰がず、歐洲人は歐洲に於て自給の策をたてざるべからずといふので、これが爲めには、小麥、其の他重要產物の生產地たる露國を、歐洲の爲めに開放せざるべからずと云ふのである、決してボルシエビツキとの親交を欲するにも非ず、又ボルシエビツキ政府を承認するにもあらず、只其の生產物を歐洲人に分配せんとするの趣意に止るのである。これ歐洲の自給策としては當然の政策である。ボルシエビツキは國際間の借金を反古紙にせんとするの橫暴なる方針をとるのであつて、かゝる背信の政府と、何れの國民も和親の關係を結ぶ能はざるは明白なる道理である。彼等が其の亂暴なる態度を改めざる限り、いづれの國民と雖もこれを認むるものではないのである。

▲新しき世界の大勢は斯の如し。今日の日本人は此の大勢を誤解せざらんことを必要とする。勞働者の煽動を以つて新しき主義であかの如くに、論ずる者があつたならば、其の人は、大戰前の古き歐洲に迷はされて、今日の新歐洲を理解して居ない。國際聯盟に明示せらるゝ如くに、勞働者の狀態はこれを改善し、これを幸福に導くべきものなること勿論である。

然しながら、勞働者をして跋扈せしむるは、これ一階級の專制政治を欲するもので、決して國民の全體の爲めに幸福を欲するの方法ではない。資本家の專制も、憎むべきであると同じく勞働者の專制も亦憎むべきである。今日の日本に於ては識者は勞働者資本家共にこれを好く指導し、これをして國家公共の爲めに盡すべの大なる精神を有せしめなければならぬ。歐洲は戰後の施設着々として成り、今後大いに能率を發揮し經濟的に大活動を爲さんと準備しつゝある。此の時に當つて日本獨り階級戰爭を夢み、或は共產主義を主張し、經濟的進運を妨ぐるが如きことがあつたならば、日本の前途は全く暗黑である。私は切に勞働者と資本家との兩者に向つて、歐洲の新しき大勢を理解し、其の大勢に從つて各々其の責任を盡されんことを希望する』と云ふて居らるゝが、伯國に在る吾々も亦此の新らしい大勢を見逃してはならぬのである。

道聽塗說

リオ市に近頃產れた『パトリヤ』なる一新聞は烈んに排日の記事を掲げてゐる、而して其の主筆者の人爲を聞くと人格の全く零な人であるさうだ、それに該紙發行費の出所は北米の大使館あたりだとも云ひ、在留葡人團だとも云ふが、兎に角眞の敵は日本人でないこと丈は事實らしい、併し該紙の底意は葡人漁業權回復から出た日人排斥にあるにせよ、將た北米人の利權擴張から出た懸引にあるにせよ、日本人を引合に所謂排日的空氣を作らしむるは吾々に取つて甚だ不利なることである尤も該紙の手段に乘つて輕舉盲動するは大に愼まねばならぬことではあるが、彼等が排日問題を擔ぎ廻つたり書立てたりする其の根本に多少なりとも日本人側に缺陷ありとすれば此の點は大に反省して今後再び斯の如き不利な惡用を受けぬやうに注意するが肝要である

奉祝天長節
カーザ日本
家具商　吉田政之進
コンソラソン街四二番

祝天長節
橫濱正金銀行
リオ、デ、ジヤヲイロ支店

奉祝天長節
カーザ東京
家具商　杉本芳之助
ルア、バロン、デ、イタベチニンガ二〇番

●イグアペ植民地の工場廻り（四）

仰岳生

一人の勞働賃金を男女共平均三ミルとして一町歩の栽培費用が約三百四十ミルレースとし一噸のカンナは八ミル五百に相當するから砂糖一袋用甘蔗八百キロは六ミル八百之れに製造手間賃、馬糧、袋代、資金の利子器械の消却歩合迄も相當に見積つても一袋につき七ミルと計算せば一袋十三ミル八百に賣つて優に三ミルの手間賃となる計算であるのに實は五十四ミル内外にて賣買せられ居るを以て男女共耕作製造期を通じて十二ミル近き一日の給料となる計算だ、換言せば、一家族五町歩の甘蔗を耕作製造するとせば二百二十袋の砂糖を得べく十一コント八百餘ミルの收入を得る勘定である此砂糖の價格が何時迄持續するかは豫言し難きも一袋十三ミルに下落すべしとは考へられぬ從つて植民の熱の高まるのも無理はないと云はねばならぬ、但し一家族にて甘蔗專門ならざる限り大家族ならざる限り五町歩の耕作製造は稍々困難でどうしても多少他人の手を要すると思はれる

甘蔗の栽培より工場の設備、器械の購入につきては色々で組合の大なるものは一日十二噸も搾り得る位の水車仕掛のものあり、八九噸の蒸汽を用ふるあり小さきは三噸内外のものあるも多く四五噸搾りのものである從つて要せる資金の高も大小あるは勿論だが最小のもので

甘蔗畑三町歩　一、〇〇〇
工場家屋敷地　七〇〇〇
壓搾器、鍋、竈築造費　一、三〇〇〇
其他の器具一切　三〇〇〇
馬匹、馬具其他　七〇〇〇
合計　四、〇〇〇

大なるものは工場丈けに十四五コントスを要するものあり、桂植民地にはレヂストロより二年早き丈け裕福な者あり小さくはあるが蒸汽エンヂンを据へ付けて居る者も三人とかある相だが時間がかゝるから見るのを見合せた

見た所を總括するに流行的に猫も杓子も工場を亂設の傾向がある、ピンガが七つ、マンヂョーカ二は別として殘りは皆砂糖だ殊に沖縄大東島の先生達約百家族は別として他の多くは砂糖の製造は全然經驗のない連中だ新しく未だ工場建築に及ばない大東島の先生達が師匠格だ、製造上色々の經驗談を聞いたが中々六ケ敷い、砂糖製造を十年廿年やつた連中さへ甘蔗の種類熟期によつては失敗することもある相だ、植へさへすれば必ず出來る米や豆の樣に簡單ぢやない誰やらが苦い砂糖やら酢バイ砂糖を拵へたとか云ふのは惡口らしいが先づ現物を見るに千種萬態だ、これぢや市場どころか植民地内でも捌けまいと思ふ位奮勵一番研究を要すると共に品質を一定することが肝要だ何んでも同業組合を作り品質を一定せしむる計畫がある相で目下より〳〵協議中だと聞いたが、日本でも同じだが我利盲者許りの日本人が甘く行くか知らん頗る危ないものだ、宜しく强固なる紐合を作り利害關係上から是非組合の規約に服從せねばならぬ樣にして組合長は可成信望ある獻身的の人物を擧ぐる樣にせねば駄目だ又海興など營利主義の會社を當てにせず自身で造る樣にしたまへと到るところ好遇して呉れた諸君に忠言を呈するよ

まあ良い見學をした、四日の滯在で稍砂糖がどうして出來るものだか分つた僕も歸つて一儲けするかな（完）

●前カイゼルの涙の種子

全世界を相手に大賭博を打つて尻の毛迄拔かれた上句の果生れ故郷にさへ居る事が可能なくなつて今は空しく異國に佗しき假り住ひの前獨帝は森一つ隔てた小丘の敎會が朝な夕なに打つ鐘の聲にいとゞ無情を感じ一歩づゝに暗黑い〳〵淵に引き込まれるやうな悲哀に暮れ、そして愛子の前クロンプリンツがいつも熱い涙を浮べて諫めて呉れた事々を聽き入れなかつたことが今更の悔となつて打ち沈んでゐる。前皇太子が横暴な頑固な父ウヰルヘルム二世に怖る悏る見合せた事は屢々であつた。大抱負大野心は徒らに過去の夢と消えて殘るは唯一の帝位が危險である——之れは少しも不思議ではないのです余と父君には非常な不幸であるには違ひありませんけれども今現に獨逸全員が大悲劇の渦中に墜し入れられんとするが如き秋に當つては帝王の冠は弊履の如くに捨つべき筈です、もう事此處に臻つては明白にお話します、吾々は白耳義の事は考へますまい、領土併呑といふことは例令東部區域でも拋棄しませう吾々が取るべき焦眉の急務は敵國と平和をなすことです、講和は獨逸國を救ふ唯一の途であります』若し夫れ此の時前カイゼルが此の諫言を容れて平和の克復を圖つたならば兩腕をもぎ取られ兩足を斷たれたやうなみじめな末路を洒げ出さずに終り得たであらうが元來賭博打は最後のフイシャ迄打ち込むが通性である。

失せて今は却つて煩悶の原因となり出さねばなりますまい、萬難の底千苦の淵に突き墜されんとする彼の國民を庇ふには吾々を見捨てるが彼の只一の方法であるのです、そして又彼は其の國民に獨逸を放拋せよと命令せねばならぬ事となります。ブルガリヤも土耳古も戰爭を繼續することは可能ないのです。潛航戰に由つて勝利を得んとした計畫は全然畫餅となりました『數週間に獨逸の興廢を決す』と水師提督は繰り返してゐますが遺憾ながら勝算がありませんん、然し此の數週間を待つて其の結果を見ることにしませう、若し吾々の期待が失敗に歸せば意を決して平和を求めねばなりません、戰捷の榮冠とか勢力擴張の光榮とか云ふ事は最早吾々が躁る處ではありますまい寧ろ吾々は獨逸國民の生る事を考へ

失せて今は却つて煩悶の原因となり出さねばなりますまい、萬難の底千苦の淵に突き墜されんとする彼の國民を庇ふには吾々を見捨てるが彼の只一の方法であるのです、そして又彼は其の國民に獨逸を放拋せよと命令せねばならぬ事となります。ブルガリヤも土耳古も戰爭を繼續することは可能ないのです。潛航戰に由つて勝利を得んとした計畫は全然畫餅となりました『數週間に獨逸の興廢を決す』と水師提督は繰り返してゐますが遺憾ながら勝算がありませんん、然し此の數週間を待つて其の結果を見ることにしませう、若し吾々の期待が失敗に歸せば意を決して平和を求めねばなりません、戰捷の榮冠とか勢力擴張の光榮とか云ふ事は最早吾々が躁る處ではありますまい寧ろ吾々は獨逸國民の生る事を考へ

ねばなりません。吾々の帝位が危險である——之れは少しも不思議ではないのです余と父君には非常な不幸であるには違ひありませんけれども今現に獨逸全員が大悲劇の渦中に墜し入れられんとするが如き秋に當つては帝王の冠は弊履の如くに捨つべき筈です、もう事此處に臻つては明白にお話します、吾々は白耳義の事は考へますまい、領土併呑といふことは例令東部區域でも拋棄しませう吾々が取るべき焦眉の急務は敵國と平和をなすことです、講和は獨逸國を救ふ唯一の途であります』若し夫れ此の時前カイゼルが此の諫言を容れて平和の克復を圖つたならば兩腕をもぎ取られ兩足を斷たれたやうなみじめな末路を洒げ出さずに終り得たであらうが元來賭博打は最後のフイシャ迄打ち込むが通性である。

公告

來ル十月卅一日天長節祝日拜賀式ノ次第左ノ通リ相定ム

大正九年十月廿一日
在サンパウロ
帝國總領事館

一、場所　アベニーダバウリスタ街百四十三番總領事官邸
一、時間　午前九時ヨリ同十一時迄
一、服裝　別段制限ナキモ各自ニ於テ不敬ニ渉ラザル樣注意スベシ
一、名刺　各自名刺御持參相成度シ

敎師招聘

今回當殖民地内ゴンザーガ區に於て小學敎師一名招致仕度候に付ては日本内地に於て斯道に經驗ありし人大至急御申込被下度候也

一、年輩者にして夫婦者但し斯道を以て天職と心得犧牲的に盡力せんとする人は若年又は獨身たるも可也
二、可成長年月本職し得る者
三、當伯國語を多少心得居る人は一層可也
四、月給現に百參拾ミルレース但し家族數及生徒數の增加と共に增俸す
五、學校は既設にして現に男女生三十名あり近來家族數及生徒數益々增加の傾向あり

大正九年十月十四日
ノロエステ線
エトルレグル驛
イタコロミー殖民地
事務所

カマラダ募集

一、馬鈴薯栽培業二、屈强の青年男子に對し年給食付八百ミル三、農閑にはブラジル語を敎へても宜しい四、契約通り一年以上勤續された時は旅費を拂戻します五、成るべくは將來獨立して此有望なる著作を試みられんとする人に向きます六、御本人の希望と成績次第では獨立される時應分の便宜を圖るつもりです七、御來着の節は襄具其他の日用品御携帶の事八、人數にも限りますから大至急左記に御來訪又は御問合を希望します

一千九百二十年十月廿九日
妹尾正男
M. SENO'
Est. Cotia
L. Sorocabana

Dr. Ernesto Fonseca

Com pratica do Hospital de S. João Baptista em Niteroi, da Santa Casa de misericordia de S. Paulo e ex-interno da Assistencia a la. infancia de S. Paulo.

Especialista em molestias internas.

Cura garantida da ferida brava e da syphilis.

Residencia **Cambara'**

Emporio Uyemura

◇日用雜貨各種
◇日本品各種
◇神田醬油取次

上村萬作

リベイロン、プレト市
カルカード三六—三七
Mercado, 36—37
Ribeirão Preto

奉祝天長節
椎野兄弟商會
コンデ街三〇番

祝天長節
海外興業株式會社
伯國支店
イグアペ植民部
アニユーマス農場

奉祝天長節
聖市
愛輪同志會

◇文藝◇

導かるゝ儘に

帆影

馬車がゆるやかに、カラドラルの石段の下に止つて開けられた扉から外へ出ると、グラ〳〵とする、介添人にさゝえられてハッと我に返ると石段の上には見知合の女子師範や、女子美術の生徒等の一群が、視線を皆私に集めてゐるのに面喰つて眼をそらすと、鐘楼塔の上の十字架が、夕日に映えて金色に輝く。

こわばりつくやうな思ひで足を運んで、祭壇の前に進む、蠟燭の焔がゆらめいて、香の煙がスウッと立ちのぼつてゐた。

神父が『愛』に就いて說示をしてゐる間、私は數年前帝劇でロシーが扮した、三浦安針の舞台面を想ひ起してゐた。

淋しい思で私の歸りを待つ兩親の老いた顏、妹の涙に曇る眼、それらが電光のやうに頭をかすめて消える。このまゝ逃げ出してしまいたいやうな。目に見へぬ力で、目に見へぬ太綱で、キリ〳〵と締めつけられてゐるやうな……。

深い夢から呼びさまされたやうに介添人に注意されて氣がつくと、禱が始まつてゐるのであわてゝひざまづいた。

指輪を彼の女の細い指にさしてやる時、彼の女も私の手も輕く震えてゐた。

彼女がどんな表情をしてゐるだらうと思つた、然し目を上げてそれを見る勇氣が欠けてゐた。

『千秋萬歲　お目出度う。』

低いが力のこもつた聲で、介添人が私を抱えをして强く手を握つたのを初めに、Y君もT君も日君も彼の女の妹も、アントニオの細君も……

……皆が交る〴〵祝つてくれるのに私は殆ど無意識に答へてゐた。

そうと盜むやうに、そばに立つ彼の女の横顏を見て、かむつたベエルを透して、頰につたう涙に氣がついた時、私の胸は急にせまつた。

『さあ天下晴れての御夫婦、仲よく手を組んでいらつしやい。』

と促がされて、出した私の腕に、すがつた彼の女はまだ震えてゐた。

裳に曳くカウダをさゝげて後に從ふもイジイニヤか、キユウピットのやうに思はれる。

出口に近く處女マリアの像の下、つと私を離れた彼の女は、跪いて十字を切り暫く默禱した、その瞬間、私はトスカの序幕を思ひ出すのだつた。サンタ、アンダレーの寺にマリオ、カヴアラドッシを訪ねて來たトスカが、矢張りあゝしたしぐさで虔ローマンスに富む處女の生涯に暇を告げやうとする刹那の彼の女の感想、それを思つて見やうとつとめた。

馬車へ乘り込んでホッとした二人は、互に顏を見交わして微笑した。夕暗の逼る街を、馬の足搔やわだちの音を快くきゝながら、三年越純潔に續いた二人の戀を今更くり返して思つて見た。

* * *

樂手等も歸り、踊り疲れた招待客皆歸つてしまつたあとで、二人は疲れ切つた身體を、投げるやうにして椅子にかけた。

フと氣がつくと彼の女は、いつの間にか花冠もベエルも取り去つて、衣服もバラ色のに着換えてゐた。

もう二度と彼の女のかうした花嫁姿を見る事は出來ない……と思つた時もう一度自分一人で、飽くまでしげ〳〵と眺め入りたかつた。

私の服の襟には、彼の女が花冠からちぎつてさしてくれた橙花があつた、私はそれを抜き取つて熱い接吻をした……。導かるゝまゝにゆく途を思つて……。

タンゴ踊（一）

……愛踊家のために……

都志雄

最近リオ市在留邦人紳士間に舞踏が一大流行し、宴會のある度毎一晩中踊り明かす程の御熱心さの話、夫れに聖市の御夫人連の間にも舞踏と云ふものに趣味を有せられて居らるゝ向も尠からずとの噂、追々邦人間にも舞踏の趣味と舞踏の社交的價値が諒解せられて來た證であると思ふ。それ故茲處に歐米の舞踏界を風靡して居るタンゴ踊に就て一寸御參考までに紹介して置くも贅ではあるまい。

時めいて居た時分のことである、此のタンゴ踊の流行には大分手古摺つたらしい、そうして旋風的に流行し始めると、『これは正しく朕の軍國主義の基礎を危くするものなり』と稱して勅命を發布して官吏及軍人に對して是を嚴禁したとの事、凡てのものが質素で無骨一點張の獨逸ですらこんな狀態で流行して居たのだから、まして倫敦、巴里の流行が如何に激しいか想像以上である、寄席、珈琲店などでタンゴを演奏しなければ客が引かれぬと云ふ有樣、それまで流行し居つたハイキックやケエクラオオクは忽ちおさらばとなり、ボストンやマシイシやワルツなどは顧るものもなく袴舞踏なんざあ月並として舞踏界から埋葬せられて終つた。

タンゴ踊の流行の原因は、無論踊そのものが俗衆に受けるのと、踊の線そのものが在來の如何なる踊よりもセンジユアルであると云ふ點——この點は多くの道學者連の顰蹙するところであるが——と今一つには歐洲大戰がもたらした人心の露骨性が此の一大流行の一部分をなした事は事實である。そうして所謂道學者をして顰蹙せしむるセンジユアルな點が此のタンゴ踊の特徵であると共に是れを除いてはタンゴ踊の特色を全然滅却してしまふものである。

從來當伯國に於ては『マシ、』が殆んど固有的（伯國）の性質を以て、舞踏界を支配して居る。（つゞく）

伯國情話

濁れる血（五）

……クラビニユス事件譚……

芳郎

▼乞食姿に怪しき絹のカミエザ▲

『珈琲園に死屍があるとよ……』

『誰れが殺されたんだい……』

『知らん……』

平凡と單調なその日その日を送つて居るコロノ連には『死屍』と云ふ言葉が如何に珍らしく聞えたか知れんのだ。そうして吾れ先きに吾れも吾れもと鎌や鍬を捨てゝ現場へと驅せ集つた、其處には黑紫色の血に塗れた乞食姿の男の死骸が泣いて居た。

『マア　悲道い殺しやうをしやがつたもんだナ……滅多斬りぢやないか』

『誰れだ……誰れだ……』

『顏が此れぢや判りこないや、鬼のやうな野郎だナ……コンナ殺しやうをしやがつて……』

と男連は悲慘な男の死體を前に憤り乍ら思ひ思ひの噂をして居た。

流石に弱い女、小兒は一目見なり顏をそむけて

『氣の毒な……氣の毒な……』

と囁くのみで再度と見返すものはなかつた。

其の死體は又で滅多矢駄羅に斬り刺されて居た。兩眼は閉ぢた眼瞼の上から深くつき刺され、打ち窪んだ眼窟には眼漿が流れ出てゐた、鼻筋は斜に立ち斷られ、鼻孔から流れた黑い血は頰をつたうて頸筋へと傳はつて、頰に殘る幾すじかの刀痕と共に黑紫色に變つて、カン〳〵と煎付くやうな午後の大陽をうけて嗅いくさい嗅氣が鼻をついて漂ふて、飽く迄も知らない惡魔の仕業を物語つて居た。

支配人のシルバは冷かな皮肉の笑をもらして、此の酷しい死人に向つて『戀の復讐』の勝利を心密かに誇つてゐた。

殆んど致命傷とも見らるべき脊から胸に刺し通された傷があるにもかかわらず衣服には又の穴跡もなかつた、そうして此の乞食のやうな被害者は絹のカミエザと絹の靴下をはいて居たのであつた。

探偵の眼は一樣に此の矛盾した事實に注がれた。そうして此の兇行の影に秘む事實は謎の洋傘とサツコと共に直覺的に探偵の頭に浮んで來たもの判然と……

夕陽に照された死屍のまわりには群鳥がむらがつて居た。

◇少年童話◇

孝行樣

むかし非常に才のある奉行がありました、何事によらず人情を土臺として判決をいたしますから自づと人はその奉行を德としてゐました、處が何時の世にも何處の土地にもあるやうな强慾な男が一人ありました。

强慾者は惡右衞門といひました一人の子を持つてゐましたが、その子は父に劣らぬ者でしたから人は惡太郎と名づけてゐました。同じ土地にゐる善吉の子に善太郎といふ孝行な子がありました、或る日善惡二人の子は路で『お前が惡いのだ』『お前こそ惡いのだ』と口論が次第に募つて來て終ひにはむしり合ひとなりました、名は惡太郎でも喧嘩には勝てなかつたと見えて惡太郎は散々に敗北しました、それが殘念だといふので惡太郎はその晩、刃物をもつて仕返しに善太郎を襲ひましたが今度も敗北した揚句に自分の刃物を奪ひとられて反對に斬られて死ました。

父の惡右衞門は此の次第を奉行に『どうぞ、我が子の敵ですから善太郎を私へ下さいませ』と訴へました。奉行はいろ〳〵調べた結果惡右衞門を諭しましたが惡右衞門は邪が非であつても善太郎を渡して下さいと强情を張ります。『善太郎を一體どうする積りだ』『ハイ、我が子の敵ですから殺してやります』『殺すと、死んだ惡太郎が生甦へるのか』『甦へりませんが喜びます』『確かにさうか』『へい確かです』『宜敷いそれでは善太郎を渡してやるから殺すがよい』『有難うございます』『しかしな惡右衞門奉行は善太郎をお前が殺せば惡太郎が喜ぶとは思はれない、けれ共お前も嘘を吐くまい』『斯うしてくれお前がこれから死んで惡太郎に逢つてよく聞き合せてから奉行所へ來い、それには相當の日數も要るだらうから七日間の猶豫をやる、その間に屹度惡太郎の返事を承つて來い』

七日經つと惡右衞門は囊に奉行へ出した訴へ狀を取下げてその後はグウとも云ひませんでした。

奉祝
天長節

カーザ、ミカド
家具商　菅平吉
ルア、セバスチオン、
ペレーラ三番

奉祝
天長節

リオ、デ、ジヤ子イロ市
蜂谷兄弟商會

奉祝天長節

森岡移民
株式合資會社

日本近信

●今秋の聯盟總會議題

◆帝國代表者——軍備制限、山東問題、海底線問題、人種平等案

十一月十五日開催せらるゝ國際聯盟總會に附せらるゝ議題は最近松井大使より外務省に報告ありたり即ち

一、聯盟新加入三問題（例へば獨逸等）

一、武器賣買協約條約に關する件

一、聯盟理事會小國理事の選任（現在の希臘以下の小國理事は第一聯盟總會にて改めて選任する事に決定し居るに依る）

一、火酒の類の取引に關する件

にして軍備制限問題及び獨逸海底電線問題も附議さるゝに至らん聯盟總會に出席する三名の帝國代表者は林駐英大使、石井駐佛大使目賀田男にして事務萬般の所理は駐外大使館員のみにては不足なるに付

▼外務省より武者小路、白耳義公使館一等書記官齋藤通商局第一課長云ふ

▼外務省は組織して攻究する所あり又聯盟軍事委員會は第一回はサンセバスチアンにて開催され第二回は九月ブラッセルに開かれ續いて陸海軍空軍の三分科會にて軍備問題研究され其の上具體案を總會に提出するの運びとなる可きが米國が聯盟外にある今日なれば有効なる結果を生ず可しとは期待されず

▼山東問題　山東問題は支那より提出さる可きは疑ひなく陸徵祥顧維鈞王政廷の三使何れも聯盟總會出張を命ぜられたるが陸氏は渡佛するや否や不明なるも顧駐米公使及び王氏は出席す可しと而して山東問題を講和條約の山東條項を以て抗爭するや或は所謂二十一個條破棄の形式に依るや否やは明かならざるも同問題は支那側が再び世界の視聽を集めんとするに止まり別段之れに依り得る所有る可しとは思はれざる形勢なり

▼海底電線　聯合國が占有し居れる獨逸海底電線の處分は華盛頓に九月開催の國際通信會議に問題となる可き筈なりしが帝國は同問題を國際通信會議に附議さるゝを好まず之れを避けんとするの方針を取り又佛國政府は通信會議を十一月に延期せんことを各國政府に勸請中の事實あれば海底電線問題は聯盟會議にて附議さるゝに至らん其他

▼人種平等案に就ては之れを上議するや否やは目下決定し居らず專ら攻究中にて聯盟總會迄には我方針を決定し參列委員に訓示を發す可しと云ふ

●全滅したる伊香保

……避暑客三千大混亂　損害二百万圓

八月三十日午前一時半頃群馬縣伊香保温泉場郵便局の隣なる旅館龜屋事田中作造方の三階客室より發火したるを宿泊中の浴客が發見して忽ち大騒ぎとなり家人浴客總出にて消止めんとしたるも猛火は忽ち階上階下に燃え擴がり手の下すべきやうもなく折柄山麓の方より吹き上ぐる烈風に煽られて隣家に延燒し恰も火山の爆發する如き猛烈なる勢を以て見る〳〵裡に丘坂の上に設計して築造されたる温泉町は濛々たる黑煙に包まれつゝ猛火は軒より軒に傳はり四方八方に飛びて火勢益々烈しく櫛比せる三階四階の大厦高樓は悉く紅蓮の巷と化し午前六時頃漸く鎮火したるが

◆總消失戸數は二百五十戸八十棟に及び東は千登世館を燒止まりとして西は猛火擅に勢を逞しうして一棟をも剩さず南は縣社伊香保神社前に辛うじて喰ひ止め同神社は危く類燒を免れたり北は千秋仁泉亭別邸にて喰ひ止め町役場、小學校、病院、郵便局等は辛くも助かりたるが南の温泉旅館は殆ど全部燒失し影を止めず

▲東久邇宮妃殿下

◇王子殿下御避難

折柄同町の一角なる御用邸には東久邇宮妃聰子内親王殿下並に王子殿下御滯在御避暑中なりしが猛火炎々として迫り畏多くも一時は御用邸も危險に瀕したるより各殿下には直に千登世館別邸に御避難あらせられたり同地には避暑中の名士も尠からず毎年の常客なる西園寺公は新伊香保なる木暮武太夫別館に滯在せる爲無事牧野伸顯子も亦無事なり

▲逃惑ふ浴客三千

◇燒死者一名判明

日下伊香保温泉に滯在中の浴客は無慮三千名に達し居たるが發火と共に荷物は愚か殆ど着のみ着のまゝに飛出し右往左往に逃げ惑ふ老若男女の悲鳴暗黑裡に物凄く

◆多數死傷者　ある見込にて大芝知事は金澤警察部長等を指揮して避難者及び罹災者の救助保護に着手し内務部にては炊出しを爲し日本赤十字社群馬支部の救護班も

◆大に活動し居れり正午までに判明せる燒死者は同町旅人宿丸木屋事荻原龜太郎方雇人藤村清（五）一名にて尙行方不明の者多少あり損害は

◆約二百萬圓に上るべき見込なり因に同温泉場は明治十六年の大火に全滅せる以來三十八年目の大火なり

●鈴木商店が特許權を獲得す

世界最新の安母尼合成法

大會社を組織して東洋工業界に活躍

窒素工業の發達の如何が國防上に於ける火藥の獨立、經濟上から肥料の獨立に重大なる關係を有する事は、彼の獨逸のハーバー式安母尼合成法に依る窒素工業の大權威ラッド、ヴイグ、シャーベン及びメルスブルヒ兩所の大會社を有した爲めに

▲カイゼル　を騙つて歐洲の野に馳騁せしめた事に依つて明かに證せられたが、平時の經濟問題として窒素肥料の問題は近年漸く重大視され農商務省を始め陸海軍省等でも相當の設備を以て研究調査を怠つて居ない民間の三井、三菱、住友等も夙に此點に留意し此のハーバー式安母尼合成法の特許を得んが爲めに異常に努力を費やして居たが遂に成功しなかつた所が此の

▲ハーバー　式其他の窒素工業の權威を破つて殆ど晴天の霹靂の如く一の新法が出現した

昨年十二月二十日の倫敦タイムスは巴里電報として『ジョ！ジ、クロード氏が在來の理論を破つて簡單に而かも工業的に一千氣壓の强壓を用ひて安母尼合成法に成功したり是は獨逸のハーバー氏法を凌駕せるものなり』との電報を掲げて世界の識者を震駭せしめた

續いてクロード氏の特許を專有して英國にカンバーランド會社が組織され、本國及び殖民地に於て大規模に製造に從事することになつた、我鈴木商店は是等の報を得るや逸早く其の特許權を得んことを企て、英國に於ける曹達界の權威カムバーランド會社長

▲バートン　氏の盡力に依つて最近日本及支那に於けるクロード氏の特許權を獲得した、近く大計畫を以て大會社を設立するといふ、若し此事業が緒に就けば肥料曹達、硫酸、製鐵等の諸工業は大影響を蒙るであらう

右に就て鈴木商店の長崎英造氏は語る『斯のクロード氏法が一度發表せられると世界の曹達界に瀰漫して居たブラナーモンド會社も今更の如く新法に恐れをなしてカンバーランド會社に對し

▲總資本の　五十乃至五十一パーセントの投資を申込んだがカ會社は僅か十パーセントの投資を許したのみであつた、特に學者の注意を引いたのは高壓機の點で有ゆる同種類工業の會社は專門技師を派して佛國モンテローに在るクロード氏の工場を視察せしめたが、其の巧妙にして精確なのに舌を卷かしめ始めて新法の可能である事が分つた、此の方法はハーバー氏法に比して建設費を三割、生產費を二割五分節約することが出來る、此の國家的事業の功を收めるに大富豪や政府の援助に待たなければならぬ』

●聖上御輕恢

東京電報、桑港近信（九月十六日）

日光御用邸に御靜養中なりし天皇陛下には其後御病症殊の外御輕恢に進ませられ昨今は殆ど御平癒遊ばされたるやにて臣民均しく眉を開きつゝあり從つて最早御轉地の必要あらせられざる事となり近日御還幸遊ばさるべし

●榛名艦巨彈爆裂

△伏見中將宮殿下御坐乘

△濱田大尉以下四名即死

帝國軍艦榛名は北海道室蘭沖にて演習中砲手の込めたる重砲未だ完全に砲彈に詰め了せざる中に爆發し濱田大尉以下四名は即死し重傷者下士一名水兵九名輕傷者水兵二名を出せり同艦には海軍中將伏見宮博恭王御坐乘ありたるが幸いにして何等の御危害をも受けさせられざりき

●聯盟總會日本全權

▽九月廿一日神戸出發

十一月十五日ゼネヴァに召集されし國際聯盟第一回總會に列席すべき日本全權は左の如く任命されたり

駐佛特命全權大使子爵　石井菊次郎
駐英特命全權大使男爵　林　權助
貴族院議員男爵　目賀田種太郎
浦鹽派遣軍參謀長陸軍中將　稻垣三郎
海軍軍令部次長海軍中將　竹下勇

國際聯盟總會出席被仰付

石井、林兩氏は出發し殘りの目賀田男、稻垣、竹下兩中將及び一行は九月廿一日神戸解纜の熊野丸にて歐洲に向ふべし

●妥協不成立

◇セ將軍と浦潮

極東統一問題に關してセメヨノフ政權と浦潮政權との妥協は遂に不成立に終りセメヨノフ政權代表者一行は二十四日浦潮を去り知多に向け歸途に就けり

奉祝天長節
上地旅館
上地彌藏
ボニータ街一一番

祝天長節
日本品各種
直輸入商
瀨木商店
ルア、コンデ、デ、サルゼーダス四九番

祝天長節
廣島屋旅館
コンデ街五三番
小川源右衛門

祝天長節
中山旅館
コンデ街六九番
中山忠太郎

◎各國電報

●北米ヤップ島占有を企つ　（廿三日華盛頓發電）

確かなる筋よりの報道に依れば、萬國通信會議北米代表者は海底電線に利用の目的を以てヤップ島を北米の占有に歸せしめんと期待せり、而して該島を領有せんとする北米の眞意は同島を通ずる海底線の全管理を日本に得せしめざるに在りと

此提議はヤップ島の所屬未定を根據として次回の同會議に提出せらるべし、然れどもヤップ島の管理權を有する日本は之を繼續せんため既に平和會議に於て同島所屬問題の起りし時之が解決を他日機會の到來する迄保留すべく巧に大統領ウィルソン氏を利用したり

●日本の來年度豫算　（廿三日東京發電）

大藏大臣は來年度豫算の膨脹を公表せり、海軍省のみにて三億四千萬圓なるが大藏大臣は之を削減すべく極力奔走中なり

●滿洲擾亂と日本軍派遣　（廿四日倫敦發電）

北京通信として『タイムス』紙の報ずる處に依れば、二千の日本兵滿洲ポシエット灣に上陸し、多數の支那兵亦同地に派遣せられたり、支那政府は日本政府に對して同地安寧維持には支那兵にて充分事足り從つて日本兵の協力を要せざる旨通牒を發したりと

●排日問題と原首相の演說　（廿七日東京發電）

原首相は當市に於ける政友會大會に演說して曰く、『北米在留日本人の權利に關する問題は北米全國民に依て決せらるべく加州住民のみの決すべきものに非ず、如何となれば加州の態度より生ずる結果は單に加州のみならず北米全土に及ぶものなるを以てなり

加州政治家は自己の利益を保護せんため日本人に損害を與ふる排日騷動を極力利用しつゝあり、彼等なかりせば此騷動は決して斯くの如く擴大するものに非ず』と

●天長節祝電

▲在留民より宮內省へ▼

本日は我今上陛下の御誕辰祝日に相當するを以て一昨廿九日藤田總領事を煩はし聖市在留民より宮內省へ宛左の祝電を發したり

謹デ天長節ヲ賀シ奉ル

●聖市に於ける　オルランド氏

伊太利特派大使オルランド氏は夫人令孃と共に二十七日朝特別列車で聖市に着き州官憲其他多數の出迎へを受け一先づアベニーダ、パウリスタなるトマセリ氏宅に入り休憩の上午後三時半州統領を官邸に訪問した、二十八日午後〇時半大使は聖市法科大學を訪問して盛んなる歡迎を受け一場の講演をした

昨三十日市立劇場に於ける講演は其入場料を慈善事業に寄附する事になつて居るが二十七日には既に入場券の賣切れとなつて居た

大使は十一月八日迄滯聖それより亞國へ赴く豫定である氏は伊國パレルモの人で本年六十歳、平和會議の時伊國首相として名聲を擧げ現に伊國下院議員である

●海相交迭

伯國海軍大臣ラウル、ソアレス氏は大統領ペソア氏と意見の衝突を來たして遂に辭職し其後任として北リオグランデ州選出上院議員フエレイラ、シャーベス氏去る二十日就任せり

●大戰の爲引上げし　佛國教官の復任

聖州々兵教育の任にあつた佛國教官の一團は大戰と同時に引上げて仕舞つたが最早や戰爭も片附いたので再び州政府と相談が纏りて復任する事となり其一行は來月二日サントス入港のアウリニ號で到着の筈であるト行の長官チレル將軍は戰前教官として當地に居た人である。

●オルランド氏の　外交振り

伊太利特派大使オルランド氏はリオ出立の際ジョナル、ド、コンメルシオの記者に語つて曰く『移民問題に關しては十分に研究すべく、伊太利は其の移住民が伯國に於て好遇され又其の勞働に對し相當の報酬を得んことを期待す、勿論伯國も其の招來せる人民の悉く職業に安んずることを望むなるべし、予は兩國の利益の爲め問題解決案の必ず見出さるべきを信ずるものなり

▲伊太利の目下消費する珈琲の數量は、一年殆ど八十萬袋に達するが、其の九割は伯國よりの輸入に係る、伊國政府が珈琲を專賣と爲したることは珈琲販路の擴張上甚だ有利にして、政府は之が爲め大貯藏場を地中海沿岸諸方の要港に設置する計畫なり、自然伊太利は小亞細亞、巴幹、南露及びコーカシア方面に對する伯國珈琲の販賣仲介者となるべく、然らば每年二百萬乃至三百萬袋の珈琲を伯國より輸入するは誠に容易にして且つ之が遠き將來にあらず、伊太利は所詮北米に次で伯國珈琲の最大輸入國たるに至るべし

▲然かして伊太利は、自動車、電氣器械、藥品、紙、其の他種々の製造品を伯國に供給するを得べく兩國の通商は今後益々其の數量を增加し、關係愈々密接を加ふべきこと疑を容れず

▲伊太利は今や過度期にあり、國內は人心安定を欠くが如き觀あるも、是れ一時の現象にして軈て平穩に復すべく、伊太利の生產力は之を戰前に比し著しく增加し、吾人は現に今戰爭前より遙かに多量の物品を生產しつゝあり』云々

●練習艦隊淺間、磐手　大尉以上の姓名

（前號のつゞき）

來る十一月廿日リオ寄航一週間碇泊の後同廿七日サントス港着豫定の我が練習艦隊淺間、磐手兩艦乘組員中大尉以上の姓名を擧ぐれば左の如し

▲軍艦磐手

艦長　大佐　鳥崎保三
副長　中佐　小林省三郎
機關長　少佐　本多敬太郎
乘組　少佐　津田威彥
砲術長　同　高力諦藏
軍醫長　醫少佐　阿部文五郎
兼分隊長　少佐　北正一郎
航海長　機少佐　近澤末太郎
兼分隊長　計少佐　高松良三
主計長　少佐　橫山馨
兼分隊長　少佐　町田進一郎
副砲長　大尉　藤木利三郎
兼分隊長　機大尉　井手佐藤邦彥
水雷長　大尉　伊藤正一
兼分隊長　同　佐藤源三
運用長　機中尉　福井信立
兼分隊長　加藤義夫
同
同
同
同
分隊長心得
乘組
士官總員九十七名（中尉以下姓名略）
右の外
少尉候補生　一七一名
機少候補生　六二名
計二三三名
兵卒　二二九名
士官　一、〇九六名
下士　一、一八名
備人　一、六八二名
乘組員合計　一、六八二名

練習艦隊側より依賴し來れる二三點に關し協議する所ありたるが孰れも最初計畫通り總領事館はトリアノン邊りにて少尉以上の公式歡迎を行ひ在留民側は少尉候補生以上を歡迎し且つ見學の便を與ふることゝし尙ほ之が確定プログラムとして該艦隊リオ入港の際藤田總領事と共に歡迎團側より二名（サントス、サンパウロより一名宛）の委員リオに出張し艦隊側と打合せの上決定することゝなりたり

▲尙ほ又是等に對しサントスの委員と諒解を作り置くの必要上電話にて相談の結果廿五日三吉氏の來聖となり當夜の委員會にて是等は圓滑に進捗し寄附金も亦地方在住者の奮發にて豫定の廿四コントスを超ゆるの模樣なれば寄附金締切期日は『謹告』の通り十一月十日限りに嚴守することゝなれり

●インテリオル便り●

●コチヤ便り

今年のバタ、は豫想通りの豐作にて目下收穫に忙殺せられつゝありと同地より買物に出て來た人がニコ〳〵して話して居た。

●プイラコスチナ便り

例年八月三十一日に催した天長節祝賀會を今年は聖市と同じく本日に變更し內外人打集うて盛大にやる計畫で總領事始め聖市の重立つた人々にも夫れ〴〵招待狀を出してある、餘興として各種競技、擊劍、舞踏、活動等ある筈。

●結婚披露會

去る廿日朝新夫人同伴歸聖されたる海外興業會社員の原口七郎氏は廿三日午後六時より媒酌人山田揚之助氏宅に知己友人を招き結婚披露の宴を張られたるが青柳、春日兩氏を始めとして招待に應せる者約三十名一同十二分に芽出たさ振りを發揮して盛大を極めたりと

練習艦隊歡迎團彙報

熟練なる日本人自動車運轉手一名入用左の處へ御照會を乞ふ
Casa Lebre
Rua Direita, 2, N'sta.

葡和字典は品切です、着いたらすぐ廣告を出します
伯刺西爾時報社

中原宮太郎儀長らく病褥に之あり候處去る拾月十四日藥石効なく永眠致し候間此段生前舊知諸君へ廣告候也
妻　平原ツキミ
弟　杉岡薫
友　村井稔弘
中岡若藏
福川爲然
間弓義諦
新見彥太郎
人　新見音藏

奉祝天長節
共三組商事株式會社
リオ出張所
西谷一男

奉祝天長節
伯刺西爾
移民組合伯國支部
同リベロン
プレト出張所

奉祝天長節
日伯物產便利組
中矢熊太郎
コンデ街七九番

31 de Outubro de 1920 NO. 160

Noticias do Brazil

大正九年十月卅一日　日曜日　第百六十號

長篇講談

柔平内

第百三回

殿『其方は去年龜井と毛利の確執に際し僅の小勢を以て毛利家の大軍と戈を交へ、見事之れを打破つたる趣き、一伍一什の有樣は豫て臣下より聞及んだが、何うぢや予が折入つて頼む、此の大膳大夫に隨身をしては呉れまいか』平『ハ、ッ』と言つたが、また始まつたな、何處へ往つても彼處へ往つても隨身をしろ家來になれと言はれるので困つて仕舞ふ、何うも蒼蠅くて堪らんな、是れは却て頭からピシッと斷つて置いた方が宜からうと思ひましたから平『ハ、ッ御諚千萬忝なく存じ奉りますが、此の鐵扇齋は身賣のために諸國を遍歴致して歩く譯には候はず、此儀ばかりは平に御斷りを申し上げまする』大膳大夫樣の御眉はピリ、と動いた併し乍ら大度量の殿樣であらつしやるから左あらぬ體にて殿『ウム、流石は天下に名を爲す其方ぢや、是れはまた豪い斷り樣を致すものぢやの、兎も角も一獻遣はすであらう……コリャ家來共、豫て申し付けたる品是へ持てッ』近臣『ハ、ッ』御次の間から金高蒔繪の膳部が二膳大膳大夫樣と鐵扇齋の前に置かれる、大膳大夫樣は大盃を取上げ給ひ先近臣に酌をさせて御自分が一杯飲干し給ひ殿『鐵扇齋、イザ一獻遣はすであらう、粂鐵扇齋は恭しく平『ハ、ッ然らば御流れ頂戴仕ります』と近侍の手より大盃を受けて波々と注がせ一息にグッと飲み干し平『有難く頂戴仕りました殿『オウ見事々々……時に其方は近頃鐵扇術とかの流儀を編出し夫を天下に弘めて居ると聞きおよんだが鐵扇位の得物を持て大敵を對手とする事が出來るか何うぢや』平『恐れながら仰せまでもございませぬ、此の小さき鐵扇一本あれば强敵を挫く位の事は最と易き事でござります大言には似たれども某し此鐵扇を斯樣に構へましたる時は、當小笠原家の大豪傑が假令四方八方を十重二十重に取卷かれましても聊か怖るゝ處はございませぬ』是をお聞き遊ばすと流石の大膳大夫樣も忽ち憤と御顏色を變へさせ給へ殿『默れ鐵扇齋、人も無げなるその大言、當家に勇士なしと申すか』平『イヤ決して左樣なる譯ではございません天下然禄の浪人粂鐵扇齋、有の儘を申し上げたる次第にて、敢て御當家に豪傑が無い英雄が乏しいと申し上げたる次第ではござらぬ』殿『エ、默れ默り居らう、今の大言聞き捨てならぬ』と血相凄じく今にも斬つて掛らん有樣に、豪傑竹中縫之助を始め勇士の面々も鐵扇齋が餘りの大言を腹に据ゑ兼ね、ヂリヂリと鐵扇齋の傍に詰寄せました、素破事こそ起つたれと列座の面々何れも手に汗に握つて控へて居る、鐵扇齋は少しも騒げる色なく泰然自若とし呵々と打笑ひ平『ウハッ〳〵ウハッ、や大名浪人の差別こそあれ吾も等しく人間の部類、此の鐵扇齋を態々お招きあつて御氣色を變へ給い拳を握り今にも御成敗の御樣子は何事でござる、今日お招きあつた某は謂はゞ當座の珍客、成程高位貴人の御前にあつて人も無げなる大言は恐れ有れど、眞實某の胸中には此鐵扇一本あれば天下の豪傑を子供扱ひにする事容易な業でござる、依つて憚らず申し上げましたまでのこと、若しや疑ひあらば十分に御試し下さる樣願ひ奉りまする』と列座の面々をグッと睨んで、更に恐るゝ氣色もなく言放ちましたる時に、小笠原候は益々急込み給ひ殿『ヤ、言はして置けば益々無禮鐵扇齋覺悟に及べッ』勢ひ猛く忽ち大身の槍を提げて立ち出で給ひ、扱く間遲し、唯つた一突と鐵扇齋望んで殿『エイ』と一聲勢ひ鋭く突き出槍は電光石火、あはや鐵扇齋の身體は田樂刺になつたかと思ひの外ヒラリ體を躱すと飛鳥の如く大膳大夫樣の御手許に躍り込み拳を困めて平『エー』ビューリ槍を叩けば殿の兩腕は忽ち痺れ、憂然と眞槍を取落し給うた、此時遲し彼の時早しバラ〳〵と躍り出でました豪傑竹中縫之助、殿の取落し給うた槍を拾ひ取るが早いか竹『ヤア鐵扇齋覺悟ッ』と素早く突出しましたる槍先、鐵扇齋悠然として鐵扇取直しピタリッと青眼に構へグッと許りに白眼付けました竹『汝ッ』竹中縫之助氣を焦つて唯だ一突と思へども、鐵扇齋の身體には寸毫の隙もございませぬ、此時鐵扇齋は聲高く平『サア、今こそ我が術の極意をお見せ申す』と聲諸共にヒラリ隙を見せた、竹中縫之助は爰ぞと鐵壁も碎けよとばかり『ヤッ』と激しく突進する、鐵扇齋はポン〳〵〳〵と拂ひ退け、雲時が間涉り合つて居りました。

婦人欄

きよ子君へ

在リベロン　多羅間生

僕は新聞に發表せられたる以外、前にも後にも、將た直接にも間接にも之の企計に關與したものでなく、從て僕は新聞に報道された表面の事實のみにより判斷したことを斷つて置く。愚見によれば、今回のは一つの歡迎會、或は歡迎の催である。一つの歡迎の催の爲めの醵金だとすれば紀念又は慈善事業關係のものとは自ら其の性質を異にして居る。斯かる歡迎の催は大體に於て其催に與り得る地方在住の諸君に於てせらるべきものである。從て之が負擔は之等諸君に於てなすべく、地方在住者に對し聖、サン、兩市及附近在住者に對すると同樣、醵出を强ひ氣味である事は僕の解し能はざる處です。十月一日の時報社說に『協同一致の實を擧げよ』と題し、先年松村總領事離任の際に於ける紀念贈呈品及州内慈善病院喜捨金募集の事例が掲げられて居たが、之全く筆者の謬見だと斷じます。單なる一の催と此等とは全く質が異つて居るのです。

僕は田舍在住の、諸君の催に參加し得ざる一人として右の理由により斷たのです。尚ほ今後今回の如き場合には、園遊會或は饗宴即ち今回の催の如きもの丶外に、軍艦若は他の被歡迎者に適當なる紀念品献納又は贈與等、永久に臣民又は在留民一般の微衷を表し得る方法を講ぜられん事を提言します。斯かる方法ならば地方在住者に於ても大に滿足する事と信じます。（十月十九日）

多羅間さん、私は貴下からの、右の御投書を繰返して拜見いたしました、今回の練習艦隊歡迎につきましては、私は不幸にして貴下と根本的に其の意見を異にして居ります、そして其の邊の事情は、本紙前號の『喜んで取消します』と題する拙文の中にも述べてありますし又近頃練習艦隊の方から當地帝國總領事館へ依頼して來て居る事項に依つても明瞭になつて居りますから、私は最早や再び之を繰返すことを止めて、其の當否を一に第三者たる讀者諸君の裁斷に委すことにいたします。（きよ子）

尋人　熊本縣人　麻生敬明
同人兄麻生清氏死去に付跡始末相談したし現住所御存知の方は乍御手數下名へ御一報願上候
酒井一男
Villa Cotia, Est. Cotia
L. Toreal bana

福岡縣浮羽郡柴刈村字鹿刈
尋人　高山久吾
右の現住所御存知の方は乍御手數下名へ御一報被下度願上候
竹上謙一
N. C. Tokio, Est. Motura
L. Paulista

CASA BARATEIRA
安敏戸行
Est. Heitor Legrú　*　Est. Biriguy
Linha NOROESTE
▼營業品、食料品、雜貨、金物類其他、噴霧器、種子蒔機、ペルデバリース
▼日本品、大工道具、化粧品、小間物、賣藥、食料品、種子物、玩具、雜誌類正宗、醬油、生乾魚
兼業「旅館」「パン製造販賣
煉瓦及屋根瓦農產物一切買入
開店以來多大の御引立を蒙り難有奉謝候就て支店を設け本店同樣品は此の度ビリグイ町に物も取揃へ大勉强にて可く候間御用命に應す尚一層の御引立の程祈上候
本店ノロエステ線エクトルレグル驛前
支店ビリグイ町活動寫眞館前

年期契約募集
一、年齢十八歳以上三十歳迄
一、募集人員八名
一、位置平野殖民地第十番地區
衣食付年給七百鈔より八百鈔迄
西北線プレジデンテ、ペンナ驛
平野殖民地
山本佐太郎
Faz. Tres Barras
Est. Pres. Penna, L. Noroeste

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます
辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3°. andar
Sala 14　S. Paulo

新潟縣人
一宮貞吉君に告ぐ
必ず御渡致度き物あり、目下の御居所を十月二十四日以前の御住所に御通知を希望す

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro
キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

金送里鄕
一、日本金に引直相場は當分伯貨參ミル百レースにつき日本金壹圓
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御鄕里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定としてBanco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金
日本貨定期預金利息　六ヶ月以上　年六分
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分五厘
〃〃〃　壹ヶ年以上　年六分
伯貨當座預金（小口）　年四分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

リオデ、ジヤネイロ
横濱正金銀行支店

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA : OSAKA SHOSEN KAISHA
日本郵船會社定期船
●土佐丸
十月一日神戸出帆
十一月廿五日サントス着豫定
御用の方は左記の中何れかへ御照會ありたし
伯剌西爾移民組合支部
(Caixa Postal, 1082)
Rua Tamandaré, 127. S. Paulo
アンツーネス、ドス、サントス會社
(Caixa Postal 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo